

## 平成21年度第3回福岡県がん診療連携協議会議事録

日 時	平成22年2月15日（月） 14時00分～15時30分
場 所	久留米大学病院共同カンファレンス室
出席者 33名	別紙出席者名簿のとおり
九州がんセンター（院長）	<p><b>1) 開会の挨拶</b> ただ今より平成21年度第3回福岡県がん診療連携協議会を開会いたします。今回は久留米大学病院に会場をお願いしました。ありがとうございます。それでは議事次第にそって進めていきたいと思ひます。</p>
久留米大学病院（院長）	<p><b>2) 開催病院長挨拶</b> 本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。癌の診療というのは、診断・治療から社会復帰まで非常に課題が多いかと思ひますが、エキスパートな先生方が情報を交換して、有意義な会になることを願っています。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
九州がんセンター（藤）	<p><b>3) 各専門部会の現状報告</b>  <b>①地域連携・情報専門部会</b>  <b>(1) 地域連携パスWGの報告</b>  概要についてはスライド（別紙）にて説明。  当初、このWGにて地域連携パスを作り始めていたのですが、医師会側の意見も取り入れるよう指摘を頂き、この時に福岡県医師会がん診療連携運営委員会を立ち上げてもらって、両者で連携を取りながら福岡県でパスを作っていこうということになり、一旦WGの活動はストップすることになりました。福岡県医師会の了解を得たうえで1月15日にWGを再結成することとなり、各病院の担当の方に九州がんセンターに集まってもらいました。そして各がん別に集まってもらい今後の活動方針として、各ブロックで各がん別のリーダー（別紙参照）を決定してもらいました。リーダーを中心に進めてもらいますが、毎回すべてのリーダーが集まるのは大変なので、各がん別にコアメンバーを選定してパスの原案を作成することとしました。そしてこの原案をWGで協議して、拠点病院としての原案を県医師会に示したいと思ひます。こちらからアプローチするために、各郡市医師会の担当窓口を決めてもらうこととしました。</p> <p><b>(2) 福岡県のがん診療連携の推進体制について</b>  概要についてはスライド（別紙）にて説明。  1月15日のWGの結果を踏まえて、2月2日に行われた福岡県医師会がん診療連携運営委員会にて20郡市の担当窓口の話をしたのですが、大勢集まってもまとまらないだろうし、トップダウンで決めてしまうのもどうかと思うので、医師会の各ブロックの代表を県医師会に選出してもらうことになりました。各がん別の拠点病院の疾患別ブロックリーダー4名、医師会ブロック代表4名、疾患リーダー1名からなる「連携パス調整会議」にて、各がん別のパス最終案を作成することとします。そして福岡県医師会がん診療連携運営委員会で最終案を協議・承認してもらい、県医師会として各郡市医師会に通達してもらって運用開始となると思ひます。とにかく我々としてはWGで早く「たたき台」を作成することが大事だと思ひます。</p>

胃・大腸がんについては、福岡ブロックで作成された地域連携パスがあるので、他のブロックにも広げていき、福岡ブロックでは運用を開始すること、他のがんについては、「たたき台」を早く作成していかないとはいけません。

### (3) 第5回がん医療地域連携研究会の報告

概要についてはスライド（別紙）にて説明。

今回は2月5日に開催しまして、特別講演は行わず「福岡ブロック胃がん・大腸がんワーキンググループ委員長」大串先生に医師会側の意見を発表してもらいました。九州大学病院の永井先生と九州がんセンターの坂口先生に胃がん・大腸がんの具体的な内容を発表してもらい、乳がんに関しては久留米大学病院の唐先生に発表してもらって、パネルディスカッションを行いました。がん医療地域連携研究会はがん診療連携協議会の支援組織となっていますが、当初の目的を果たせたということで世話人会に了承をもらい、今回で終了することとなりました。

次の診療報酬改定で地域連携パスに診療点数(拠点病院側750点、受ける病院側300点)が設けられました。まだ詳しい算定要件はわかりません。注意するところは退院時ということなので、外来での算定はできないこととなります。

九州大学病院  
(水元)

診療点数を算定するには、病院毎に「私のカルテ」を作成しないとはいけません。熊本の済生会に尋ねたところ、A5版で作成した時に1冊7000円のコストがかかるらしいので、病院にかなりの負担がかかると思います。

九州がんセンター (藤)

がん対策情報センターでは「患者必携」というのを作っています。かなり費用がかかるということで、まとめて業者に印刷を頼んだ方が安くなるということでした。胃・大腸がんの「私のカルテ」はA4版で作成してありますので、主流はA5版なので、やり直すかどうか問題です。とりあえず前には進んでいますので、胃・大腸がんについては福岡ブロックでは4月から運用を開始したいと考えています。運用し始めるといろいろ問題点が出てくると思いますので、その都度検討していくことになると思います。

社会保険田川  
(田中)

4ページのおおまかなタイムスケジュールを教えてください。

九州がんセンター (藤)

逆算したら2年後には病院毎に1例ずつはしていなければいけません。

社会保険田川  
(田中)

考えとしては「たたき台」ができるまで待っていれば良いのですか。

九州がんセンター (藤)

拠点病院として待つのではなくて、WGのバックアップをお願いしたい。運用開始まで最長2年ということですが、できるだけ1年位で運用できればと思います。

社会保険田川  
(田中)

各医師会にも通達は来ているみたいだが、人選はしなくて良いということみたいですが。

九州がんセンター (藤)

それは初耳ですが、県医師会の方で責任持って人選をするということでした。とりあえず「たたき台」の作成を急がせます。

## ②がん登録専門部会

九州がんセンター (西山)

1月25日に会議を開きましたので、その報告を持って専門部会の現状報告とさせていただきます。今、がん登録専門部会は大きな2つの目標を持って動いています。一つは「登録データ分析評価方法について」、もう一つは「予後調査について」です。

### (1) 登録データ分析評価方法について

概要については別紙にて説明。

登録データは各病院から国立がんセンターに提出され、県別データとして戻ってきたところだと思います。県から国がんに要請していただいて、県内病院の細かいデータが届いています。このデータをどのように処理し、各病院に配布するかが議題になっています。各病院の意見をとりまとめると、とりあえず今年は病院別の5大がんの分析評価を出してみようかと考えています。本日は分析評価を出す時に病院名を公表して良いかの意見をお伺いしたい。

九州がんセンター（院長）	これに関しては、国の方でも北海道がんセンターからの意見があり、まだ決着はしていません。登録士が十分教育されていない病院では、データが未完成なので公表されては困るという意見があります。5月頃にまた話が出ると思います。
福岡大学病院（田村）	15拠点病院分をABC方式で我々に提供してもらえるとということだと思いますが、県は知っているのでしょうか。
九州がんセンター（西山）	初年度で手探り状態ですので、それでやってみて先生方の意見をもらえればと思います。
久留米大学病院（山名） 九州がんセンター（院長）	当初からそういう話だったと思います。  DPC病院になると必然的に公表されますので、いずれは全ての病院が公表されることになると思います。
九州がんセンター（西山）	それでは病院名を無記名にして、何らかの方法で5大がんの分析評価を各病院に提供したいと思います。
九州がんセンター（西山）	<p>(2) 予後調査について</p> <p>概要については別紙にて説明。  現況は2009年に2007年がん登録が提出済みで、2007年がん登録症例3年後予後調査が2011年末に提出予定です。2010年内に県内の予後調査を形にする必要がありますので、予定としては4月頃に県より各市町村に協力依頼文書を送付していただいて、各市町村より諾否の返事をもって、否の市町村には改めてお願いをして、全ての市町村より許可をもらった後に各病院で予後調査をしてもらう予定です。専門部会で北九州医療センターより「県の報告を待ってから動けばよいか」という意見がありましたが、今は環境を整えている状態ですので、結果を部会や協議会でお知らせしますので、その後に予後調査に取り掛かっていただければと思います。</p> <p>次回の専門部会の開催は4月か5月頃を予定していきまして、データの分析や予後調査の現状を報告したいと思います。</p>
九州医療センター（村中）	全てを自治体にお願いするのですか。
九州がんセンター（西山）	基本的には各病院の院内の予後調査をきちんとしていただいて、できないものについては自治体にお願いすることになります。
久留米大学病院（山名）	前回、患者の同意書の件がありましたが、がん登録で取った方が良いのか、包括同意書で良いのかわからないということでしたが。
九州がんセンター（西山）	各病院で対応が違うと思います。九州大学病院は包括同意書は難しいということですし、九州がんセンターは包括同意書でやっています。九州がんセンターは殆どが癌の患者さんなので良いが、他の病院は一般の患者さんもおられるので県内統一の同意書作成は難しいと思います。
九州大学病院（水元）	<p><b>③研修・教育専門部会</b></p> <p>(1) 九州大学病院研修会等の開催予定  概要については別紙資料1にて説明。  来年度の研修会の予定を一覧にしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州大学病院がんセミナーを2ヶ月に1回、年6回</li> <li>・福岡県コメディカルがん医療研修会を10月から年3回</li> <li>・院内がん登録実務者研修会を3ヶ月に1回、年4回</li> <li>・福岡県がん診療連携協議会MSW研修会を4ヶ月に1回、年3回</li> <li>・がん看護に関わる看護師育成教育プログラムを開催予定</li> <li>・患者対象研修会も開催予定</li> </ul>

(2) インターネット研修について  
概要については別紙資料2にて説明。  
現在、7タイトルをインターネット研修で見ただけのようにしています。

(3) 医師に対する緩和ケア研修会について  
概要については別紙資料3にて説明。  
県医師会や県から要望が出ています単位型の研修会を実施するための必要事項をまとめてみましたので、次回の専門部会の際に意見をいただければと思います。  
大きな問題としては、1. 研修会運営について、2. 研修会内容についての2点であります。対策としては福岡県にさせていただくことと各施設でさせていただくことに分けて整理をしています。

1. 研修会運営について

《福岡県》

- ・企画責任者、研修協力者の登録、管理

大牟田市立総合病院、公立八女総合病院において緩和ケア指導者研修修了者が不在、北九州市立医療センター、九州厚生年金病院、飯塚病院、大牟田市立総合病院において精神腫瘍指導者研修修了者が不在である。

- ・各施設の緩和ケア研修会研修協力者スケジュール管理、依頼
- ・各施設の緩和ケア研修会広報、参加者募集
- ・福岡県緩和ケア研修会プログラムの組み合わせ、単位の割付、開催スケジュール案の厚生労働省へ提出

昨年は7月～9月に集中して開催された。今年も10月までは各施設で独自に行ってもらいます。10月以降に今後の開催について検討する。

- ・緩和ケア研修会参加者名簿作成、単位管理、終了書発行・交付

《各施設》

- ・ファシリテーター条件、数についての基準

参加者数によらず指導者研修会終了者2名（緩和ケア1名、精神腫瘍1名）が必要。メインファシリテーター1名以外に、参加者6名につき指導者研修修了者1名以上を確保する必要がある。

2. 研修会内容について

《各施設》

- ・統一プログラム案の作成

単位型に向けた内容を整理して次回の会議にかけようと思っています。

第2回九州大学病院 医師に対する緩和ケア研修会に関する資料（P11～P19）

- ・医師会に参加者募集の案内をお願いしたところ、すぐに定員を上回る応募がありました。やはり広報は大事である。拠点病院として自施設以外の病院の医師を受け入れる必要がある。

診療報酬改定（中医協）の関連項目（P20～P22）

- ・がん診療連携拠点病院加算 400点→500点
- ・がん性疼痛緩和指導管理料 緩和ケアに係る研修を修了した医師による指導が要件に追加
- ・緩和ケア診療加算 緩和ケアに係る研修を修了した医師による指導が要件に追加

福岡大学病院  
（田村）

医師に対する緩和ケア研修会は、現行は単位型ではなくて今までどおりで行って良いのですね。

九州大学病院  
（水元）

今後の緩和ケア研修会を単位型で実施するという話をする時に、今までは拠点病院の再指定が明確になっていなかったの、再指定が確定したところで担当者が集まって話が始まるだろうと思います。今回の提案を各病院に持って帰っていただいて、意見を出していただければと思います。

福岡県(櫻木)	<p><b>4) その他</b></p> <p>(1) 福岡県指定がん診療拠点病院について 2月3日に第6回のがん診療連携拠点病院の指定に関する検討会が行われました。福岡県としましては昨年3月に説明会を開催し、指定期間(4年間)や指定要件の説明を行いました。今回引き続き2つの県の拠点病院、13の地域の拠点病院より推薦の申込があり、他に3つの病院より新規の申込がありました。この3つの病院は国指定の拠点病院と同等のレベルがあるということで、「県指定のがん診療拠点病院」という位置づけで、県指定の拠点病院を作っていきたいと考えています。「九州中央病院」、「戸畑共立病院」、「浜の町病院」の3病院を4月より県の指定病院として、国の拠点病院と同じような役割を担ってほしいと考えています。</p> <p>(2) 福岡県がん登録事業について 概要は別紙資料2にて説明。 昨年7月、各市町村に院内がん登録に係る予後調査について調査をしています。同意が無いと難しいと回答したところが35ヶ所(52%)、審査会への諮問が必要9ヶ所(14%)、同意が無くても可能7ヶ所(11%)となっています。がん登録事業自体を担当者が理解できていないところもあるので、担当者会議で説明していきたいと考えています。4月～5月までに各市町村長宛に「福岡県がん登録事業に係る予後調査について」という依頼を行い、各拠点病院にも本人同意についてお願いをしていく予定です。本人同意については、各病院で事情があるみたいなので、専門部会で検討していきたいと思います。</p> <p>(3) 緩和ケア研修会について 概要は別紙資料3にて説明。 単位型の研修会ということで推進できたらということを考えております。今現在、全国でも一般型が30ヶ所、単位型が17ヶ所と単位型が増えている状況です。福岡県の終了者数は431で、全国にて5番目となっています。役割については先程示していただきましたので、今後どういう風に進めていくかは、ご意見をいただきながら検討していきたいと思います。</p>
九州がんセンター(院長)	<p>県指定の拠点病院については、協議会に参加してもらうことになると思いますが、組織の位置づけというのはいかがでしょうか。</p>
福岡県(櫻木)	<p>資料1「福岡県がん診療連携協議会会則」の第3条の組織に「福岡県指定がん診療拠点病院」を入れていただければと考えています。</p>
九州がんセンター(藤)	<p>東京都とか「県指定がん診療拠点病院」を指定しているところはどのようにしているのですか。</p>
福岡県(岩永)	<p>問い合わせた中では、埼玉県、東京都、大阪府、鹿児島県については名簿に入れてあるということでした。</p>
九州大学病院(水元)	<p>今後「県指定がん診療拠点病院」の募集を行って増やしていく予定はあるのですか。</p>
福岡県(櫻木)	<p>今現在の考えとしては、4年に1回拠点病院の更新がありますので、それに合わせて募集していきたいと考えています。「県指定がん診療拠点病院」についても指定期間は4年間と考えています。</p>
久留米大学病院(山名)	<p>4年毎というよりは、いくつか必要数指定してもらって、がん登録等を充実させ、一括してみんなで協議していった方が良くと思います。</p>
九州がんセンター(院長)	<p>予算関係等、運営上の問題はありますので、他の県も調べて参考にしても良いので、組織をどうするかを検討してもらいたいと思います。</p>

福岡大学病院 (田村) 福岡県(櫻木)	<p>県外のがん登録については、どのように考えておられるのでしょうか。</p> <p>まずは県内における体制を整備し、県外についてはその後考えたい。それぞれの都道府県が進めて行けばお互いに連携が取れて情報共有ができるようになると思います。</p>
九州がんセンター (西山)	<p>むしろ県外の方が地域がん登録を行っているので、県内より対応が良いそうです。全国の市町村に県からお願いするのは不可能なので、県外については今のところ各病院でお願いしていただければと考えています。</p>
福岡県(櫻木)	<p>院内がん登録の同意書につきましては、市町村より書式を統一して欲しいという意見がありましたので、専門部会で検討したいと思います。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>地域がん登録のその後の状況を教えていただきたい。次回診療報酬改定でDPCの機能評価係数に地域がん登録が含まれているので、大変大きな問題である。</p>
福岡県(櫻木)	<p>以前話をしている状況から進展はしていない。福岡県のがん登録の体制を整えたうえで、その後どんな形でできるかを考えていきたいと思います。今すぐに地域がん登録をとというのは難しいと考えます。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>報道によると、22の地域がん登録を行っていない県に対して、予算化されたと聞きましたが、それでもできない状況でしょうか。</p>
福岡県(櫻木)	<p>そういうことに予算が付いたということは聞いていますので、県としても考えていけないといけないと認識しています。</p>
九州がんセンター (村中)	<p>これだけのデータを吸い上げて、地域がん登録ができない理由は何なのか、ハードルとなるものは何なのかを協議会でも検討すべきではないかと思います。</p>
九州がんセンター (院長)	<p>地域がん登録に関しては以前から言っていますが、是非前向きに検討をお願いします。</p>
<p><b>5) 連絡事項</b></p>	
<p><b>平成22年度福岡県がん診療連携協議会開催予定(案)</b></p>	
九州がんセンター (一瀬)	<p>第1回 平成22年 6月14日(月) 九州がんセンター  第2回 平成22年10月18日(月) 飯塚病院  第3回 平成23年 2月14日(月) 九州医療センター  何か議論して欲しい議題がありましたら、事務を通して連絡して下さい。</p>
九州大学病院 (水元)	<p>福岡県がん診療連携協議会の今後の活動のなかに、本県における緩和の連携をどのように進めていくかということを加えていただきたい。</p>
<p><b>6) 閉会の挨拶</b></p>	
九州がんセンター (院長)	<p>来年度もまたよろしくお願いたします。  これをもちまして平成21年度第3回福岡県がん診療連携協議会を閉会いたします。</p>

